

8 月 14 日 年間第 20 主日

しっかり立つ

ルカによる福音書 12 章 49～53 節

⁴⁹「わたしが来たのは、地上に火を投ずるためである。その火が既に燃えていたらと、どんなに願っていることか。⁵⁰しかし、わたしには受けねばならない洗礼〔バプテスマ〕がある。それが終わるまで、わたしはどんなに苦しむことだろう。⁵¹あなたがたは、わたしが地上に平和をもたらすために来たと思うのか。そうではない。言うておくが、むしろ分裂だ。⁵²今から後、一つの家五人いるならば、三人は二人と、二人は三人と対立して分かれるからである。

⁵³父は子と、子は父と、
母は娘と、娘は母と、
しゅうとめは嫁と、嫁はしゅうとめと、
対立して分かれる。」

他の朗読：エレミヤ 38：4～6, 8～10 詩編 40：2～4, 18 ヘブライ 12：1～4

Lectio …読む

ルカの言葉は初代教会のキリスト者にとって、特別な側面を持っていました。ルカはこの福音書を、キリスト者に迫害の波が次から次へとやってきていた紀元 1 世紀の終わりに書いたのです。

イエスに従った人々は、彼らが直面する挑戦を受け入れました。時としてそれは彼らの命をも賭けさせるものでした。他の人々にとって、キリスト教の教えとキリスト者の生き方は一番望まないものであったため、家族は分裂しました。非キリスト者は、家族の中のキリスト者を権威者たちに売り渡していたのです。

家族の圧力はいつも重大な役割を果たします。初期のキリスト教の教会や今日においては、イエスに出会うと、家族全体が次から次へとキリスト者になることができました。別の家族においては、新しいキリスト者は、この新しい信仰を家族と家族の伝統への裏切りとみなすほかの家族によって、迫害を受ける可能性があります。ある場合において、キリスト者として立ち上がることは、完全に勘当されたり、追放されたり、殺されたりさえするかも知れず、全てを代償にしなければならないのです。

イエスは「わたしには受けねばならない洗礼がある」と言って、この迫害と自分を結びつけます。洗礼にあたるギリシア語は、完全に水に浸すことを意味し、死を暗喩します。イエスがここで言及している火の洗礼とは、彼が受ける十字架の恐ろしい苦しみであり、そして御父からの断絶です。彼の償いの大きな恵みは、それなしでは成しとげられないことを知っていたため、イエスはそれがはやく来ることを望んでいました。イエスは被る痛みにこだわらず、御父と私たちへの愛のために火の洗礼を受け入れたのです。

Meditatio …黙想する

イエスへの信仰ゆえに拒絶されたり、不公平に扱われたりしたことがありますか。あなたはどのような反応をし、その経験から何を学びましたか。

あなたは人々との軋轢、特にあなたの信仰に同意していない家族とどのように接していますか。

Oratio …祈る

詩編 40 編 2～4 節から勇気を得ましょう。詩編作者と共に、神が私たちの祈りを聞いてくださることに感謝をささげましょう。神があなたを救って、岩の上に置き、歌うべき新しい歌を与えてくれることに感謝しましょう。

もしあなたの信仰のゆえに、誰かから不親切な言葉や拒絶、あるいはもっとひどいことをされて苦しんだことがあるならば、イエスがそうするように私たちに呼びかけているように(マタイ 5 章 44 節)あなたが赦し、愛し、そして彼らのために祈ることができるように神に助けを願いましょう。

この機会に、まだイエスを知らない家族や友人のために祈ってみましょう。

Contemplatio… 観想する

ヘブライ人への手紙 12 章 1～4 節は、神の愛のみ腕と、あきらめることのなかった聖人たちの集いに私たちを招き入れてくれます。彼らはイエスに目をしっかり向け、「競争を走り抜き」ました。私たちは彼らに加わるように呼ばれているのです。しばらくの間、以下の力強い言葉を思い巡らしてみましょう。

「すべての重荷や絡みつく罪をかなぐり捨てて、自分に定められている競争を忍耐強く走り抜こうではありませんか、信仰の創始者また完成者であるイエスを見つめながら。」